令和6年(2024年) 度行政評価シート【個表】 令和 6年 6月 21日

評価対	象事業		評価者	環境施設課	長 不破 寛和
環境-10			■ 自治事務	主管課	環境施設課
	取於処力等	₹	□ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	3-(3) 生活環境	施策の方針	3-(3)-①3Rの推進・ごみの適正処理	

1 事業の目的

る。

2 令和5年(2023年)度に実施した事業の概要

- ・焼却残さ全量を溶融固化等処理により路盤材等に加工し、資源化を推進した。
- ・最終処分場周辺の環境を保全し、適切な維持管理を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

	デ木と情外! ひず切	<u>ナル、私</u>						
枝番号	事務事業		た主な事業 は経費等)	指標(単位)	令和5年原 指標(実績値/ 事業費(決算/当者	目標値)	令和6年度 指標(目標値) 予算額(千円)	達成度
01	焼却残さ溶融固化事 業	焼却残さ溶融固化処 理業務委託 等		焼却残さの資源化 (%)	100 /	100		100%
	*	生术勿女	10 1 7	(70)	126,782 /	119,063	129,446	100/0
02	最終処分場周辺維持 管理事業		イオキシン類 農損失補償	適切な維持管理に係 る調査業務執行率	100 /	100		100%
		金 等		(%)	2,884 /	4,263	5,325	100%
				国県支出金	/			
			財源	地方債	/			
			内訳	その他特定財源	/			
				一般財源	129666 /	123,326	134,771	
			事業費	の合計(千円)	129,666 /	123,326	134,771	
			人作	井費 (千円)		2,279	2,338	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.8	0.6	0.3	0.3	0.3	
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

	• /	AND TANKE			
1	枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
0)1	焼却残さ溶融固化事 業	焼却灰の全量資源化(溶融固化 処理等)を行った。	「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現に向け、焼却灰を埋め立てることなく資源化することにより、循環型社会の形成に寄与する。	安定的な処理を行うため、バック アップ体制を確保する。
0		最終処分場周辺維持 管理事業	最終処分場の適切な維持管理 に必要となる調査業務を実施し た。	最終処分場の維持管理を行うことにより、適切なごみ処理 体制の構築に寄与する。	最終処分場の廃止条件の拡大等 について関係機関と協議を進め る。

	事業費の削減余地はな	にいか		1 事業費	骨の削減余地に	はない		
効率性	事業の外部化(民営化	*業務委託等	等)はできなし	<mark>いか</mark> 3 外部化	公ができる事業	はない		
	関連・類似する事業の経	統合はできた	ないか	3 統合で	ぎきる事業はな	V)		
妥当性	各事業の実施に対する	市民ニーズ	はあるか	1 市民二	ーズは変わら	ずにある		
女ヨ性	民間によるサービスで何	代替できる事	事業はないか	4 法令等	等により、市に 写	実施が義務付け	けられている	
有効性	事業の上位施策に向け	た貢献度は	tどうか	1 目的達	を成のために 適	i切な手段(最/	小事業)である	
公平性	受益者負担は公正・公	平か	△.負担未	:導入 △-3 受益	益者が特定でき	ないため、受益	者負担を求める	ことができない
				△-9 実施	が義務付けられて	おり(法定受託事務	§等)、実施事業に	協働はなじまない
協働	市民等と協働して事業を	展開している	<mark>か</mark> △.協働未		斉の場合のパー	・ナー		
小《公本記》		証価を踏ま	えて 今年	度以降の取約	且方針等を記	載する		
つ) 本本 一 計1								
【今後の方針 ・稼働中 資源化な ・廃止手	計】	ていないと	□ 改善・変] ともに、「ゼ	更 ■ ロ・ウェイスト፣		□ 縮小 現に向け、引	_	休止・廃止 浅さの全量
資源化 ·廃止手 参考 】	計】 □ 拡充 の最終処分場を有し を行う。 続が整うまでの間、最	ていないと	□ 改善・変] ともに、「ゼ	更 ■ ロ・ウェイスト፣	かまくら」の実	□ 縮小 現に向け、引	_	
【今後の方6 ・稼働中 資源化2 ・廃止手 参考】 参考】 指標(単位	計】 □ 拡充 の最終処分場を有した行う。 続が整うまでの間、最 に係る主な指標 焼却残さの資源	ていないと	□ 改善・変] ともに、「ゼ	更 ■ ロ・ウェイスト፣	かまくら」の実	□ 縮小 現に向け、引	さ続き焼却死	残さの全量 %
【今後の方句 ・稼源化る ・廃止手 参考】 多事業実施 指標(単位 指 ま却灰の資源(計】 □ 拡充 の最終処分場を有した行う。 続が整うまでの間、最に係る主な指標 は 焼却残さの資源 標設定理由 は(溶融固化処理等)の実	ていないと	□ 改善・変〕 ともに、「ゼ (4及び5号	更 ■ロ・ウェイスト: 地)の適切な	かまくら」の実維持管理を行	□ 縮小 発現に向け、引 テう。	き続き焼却死	浅さの全量
【今後の方角・ ・稼源化名・ ・廃止手 参考】 多事業実施 指標(単位 指表却灰の資源の での資源の ででででである。	計】 □ 拡充 の最終処分場を有し を行う。 続が整うまでの間、最 に係る主な指標 t) 焼却残さの資源 標設定理由	ていないと	□ 改善・変! ともに、「ゼ (4及び5号 R2年度	更 ■ ロ・ウェイスト 地)の適切な R3年度	かまくら」の実 維持管理を行 R4年度	□ 縮小 選現に向け、引 子う。	き続き焼却死 単位 R6年度	残さの全量 %
【今後の方角・ ・なる ・後の働化名・ ・廃・ ・廃・ ・廃・ ・廃・ ・廃・ ・原・ ・原・ ・原・ ・原・ ・原	計】 □ 拡充 の最終処分場を有した行う。 続が整うまでの間、最に係る主な指標 は 焼却残さの資源 標設定理由 は(溶融固化処理等)の実であため(令和6年度末で	ていないと	□ 改善・変〕 ともに、「ゼ (4及び5号 R2年度 100	更 ■ ロ・ウェイスト 地)の適切な R3年度 100	かまくら」の実 維持管理を1 R4年度 100	□ 縮小 発現に向け、引 テ う 。 R5年度 100	き続き焼却死 単位 R6年度	残さの全量 %
【今後の方角・後移原中ででは、 ・一次の働化でである。 ・一次の一次の一条では、 ・一次のでである。 ・一次のでである。 ・一次のでである。 ・一次のでは、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一	計】 □ 拡充 の最終処分場を有した行う。 続が整うまでの間、最に係る主な指標 は) 焼却残さの資源 標設定理由 は(溶融固化処理等)の実であため(令和6年度末でレターの焼却停止)	ていないと	□ 改善・変! ともに、「ゼ (4及び5号 R2年度 100 100	更 ■ ロ・ウェイスト 地)の適切な R3年度 100 100	かまくら」の実 維持管理を行 R4年度 100 100	□ 縮小 選現に向け、引 デう。 R5年度 100 100	単位 R6年度 100	残さの全量 %
【今後の方領・ ・稼源化で ・溶源止手 参考】 参考】 参事業実施 指標(単位 指 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	計】 □ 拡充 の最終処分場を有した行う。 続が整うまでの間、最に係る主な指標 は) 焼却残さの資源 標設定理由 は(溶融固化処理等)の実であため(令和6年度末でレターの焼却停止)	ていないと	□ 改善・変! ともに、「ゼ (4及び5号 R2年度 100 100	更 ■ ロ・ウェイスト 地)の適切な R3年度 100 100	かまくら」の実 維持管理を行 R4年度 100 100	□ 縮小 選現に向け、引 デう。 R5年度 100 100	き続き焼却死 単位 R6年度	残さの全量 %
【今後の方角・ ・資廃・ ・資廃・ ・多考】 ・多考】 ・多考】 ・方 ・資源・ ・原の資源・ ・の資源・ ・成のでを ・プローンセー ・ はたり も はたり も は も は も も も も も も も も も も も も も も も	計】 □ 拡充 の最終処分場を有した行う。 続が整うまでの間、最に係る主な指標 は) 焼却残さの資源 標設定理由 は(溶融固化処理等)の実であため(令和6年度末でレターの焼却停止)	ていないと	□ 改善・変! ともに、「ゼ (4及び5号 R2年度 100 100	更 ■ ロ・ウェイスト 地)の適切な R3年度 100 100	かまくら」の実 維持管理を行 R4年度 100 100	□ 縮小 選現に向け、引 デう。 R5年度 100 100	単位 R6年度 100	残さの全量 %
【今後の方角・ ・資廃・ ・海の働化を ・廃・ ・廃・ ・廃・ ・廃・ ・廃・ ・廃・ ・廃・ ・原の動化を ・原の ・原の ・原の ・原の ・原の ・原の ・原の ・原の ・原の ・原の	計】 □ 拡充 の最終処分場を有した行う。 続が整うまでの間、最近に係る主な指標 は 焼却残さの資源 標設定理由 と(溶融固化処理等)の実であため(令和6年度末でレターの焼却停止)	ていないと と終処分場 化 年次 目標値 実値 達成率	□ 改善・変! □ 改善・変! ともに、「ゼ (4及び5号 R2年度 100 100 100.0%	更 ■ ロ・ウェイスト 地)の適切な R3年度 100 100 100.0%	かまくら」の実 維持管理をイ R4年度 100 100 100.0%	□ 縮小 発現に向け、引 テ う 。 R5年度 100 100 100.0%	単位 R6年度 100	残さの全量 % R7年度
【今後の方角・ ・資廃・ ・資廃・ ・多考】 ・多考】 ・多考】 ・方 ・資源・ ・原の資源・ ・の資源・ ・成のでを ・プローンセー ・ はたり も はたり も は も は も も も も も も も も も も も も も も も	計】 □ 拡充 の最終処分場を有した行う。 続が整うまでの間、最近に係る主な指標 は 焼却残さの資源 標設定理由 と(溶融固化処理等)の実であため(令和6年度末でレターの焼却停止)	ていないと 終処分場 化 年次 目標値 実績値 達成率	□ 改善・変! □ 改善・変! ともに、「ゼ (4及び5号 R2年度 100 100 100.0%	更 ■ ロ・ウェイスト 地)の適切な R3年度 100 100 100.0%	かまくら」の実 維持管理をイ R4年度 100 100 100.0%	□ 縮小 発現に向け、引 テ う 。 R5年度 100 100 100.0%	単位 R6年度 100	残さの全量 % R7年度

他市実績

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方